

2019年度 北広島市政策評価報告書

2019年(令和元年)9月

北広島市企画財政部企画課

2019年度(令和元年度)事務事業評価の2次評価について

2019年度(令和元年度)の事務事業評価は、「2019推進計画」(平成31～32年度)に掲載されている391事業のうち281事業を評価対象として評価を行いました。

対象事業の選定においては、主に次に掲げる事業を評価対象外とし、今後の予算編成及び推進計画への反映に重点を置き、選定しました。

- (1) 法令等で義務付けられている業務であって市の裁量が小さいもの
- (2) 2018年度(平成30年度)に終了した事業及び2019年度(令和元年度)に終了する事業
- (3) 数年度のうちに終了が見込まれている事業
- (4) その他評価の必要性が低いと考えられる事業

1 評価結果の一覧

2018年度(平成30年度)の実施状況を踏まえ、2020年度(令和2年度)以降の方向性について、評価しました。

評価対象	拡大	現状継続	要検討	見直し	統合	休止・廃止	終了
281	2	260	13	0	1	0	5

2 事業の進捗状況について

本市では、第5次総合計画において「希望都市」「交流都市」「成長都市」を「めざす都市像」と定めています。この都市像の実現に向けて、6つの基本目標、「支えあい健やかに暮らせるまち(健康・福祉)」「人と文化を育むまち(教育・文化)」「美しい環境に つつまれた安全なまち(環境・安全)」「活気ある産業のまち(産業・労働)」「快適な生活環境のまち(生活・都市基盤)」「にぎわい・活力のあるまち(行財政運営・地域)」を掲げ、これらの基本目標の達成に向け、45政策、132施策からなる事業を行っています。

今年度は、281事業について評価を行った結果、260事業が現状継続となっており、現時点では、全体的に各事業は推進計画に基づき適切に行われていると考えられます。

3 評価結果の内容について

「事業をより効率化し、かつ、効果的にするためには」という視点により、2次評価を実施しました。評価結果のうち特徴的なものについては、下記のとおりです。

1 子育て支援・学校教育の充実のため「拡大」とした事業

- (1) 実費徴収補足給付事業
- (2) コミュニティ・スクール推進事業

2 事務の効率化、効果的にするため「要検討」とした事業

- (1) 空き店舗利用促進事業
- (2) 買物不便者対策事業
- (3) 雇用対策事業
- (4) 働きたい女性のための再就職支援事業
- (5) 健やか子育て支援事業
- (6) ふるさと奨学金事業
- (7) バス等利用支援事業(旧 生活バス路線利用促進事業)
- (8) 子ども夢チャレンジ応援事業
- (9) 働きたい女性のための企業合同雇用促進事業
- (10) 起業支援促進事業
- (11) 子育て世代マイホーム購入サポート事業
- (12) 市民協働推進事業
- (13) 男女共同参画推進事業(ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組のみ)

3 事業を一体的に推進し、効果的にするため「統合」とした事業

北広島団地イメージアップ事業(シティセールス事業に統合)

4 事業目的の達成等のため「終了」とした事業

- (1) 幼稚園就園奨励費事業
- (2) 市街地活性化事業
- (3) 地域除雪懇談会推進事業
- (4) 大学生市内居住推進事業
- (5) 札幌広域圏組合連携事業